

NII学術情報基盤オープンフォーラム 2019

〈AXIES研究データマネジメント部合同トラック〉

学術機関における研究データ管理の進め方

名古屋大学における
研究データ管理体制の整備

図書館： 揚野敏光（名古屋大学）

図書館職員の立場で 研究データ管理を検討する プロジェクトに参加

- 情報連携統括本部 情報推進部 情報推進課
学術情報システム係
 - 図書館電子計算機システムの管理を担当
 - 中央図書館の事務室内に在席
- 情報推進部長と図書館事務部長が兼任（平成30年度～）

図書館のこれまでの取り組み

- 学術機関リポジトリ

- 平成17年度から公開

- 名古屋大学オープンアクセスポリシー（平成28年4月19日制定）

対象範囲

- 制定後に発行された学術論文
- 名古屋大学の教職員が著者
- 学内刊行物，博士学位論文を公開

- デジタルアーカイブ

- 高木家文書
- 伊藤圭介文庫
- 西洋古典籍デジタルライブラリー

附属図書館の将来像（グラウンド・デザイン）

2019年3月（抜粋）

目標2. 研究支援 <研究データを含めた学術情報の保存・活用・発信とデジタル図書館>

文献情報だけでなく、研究データ等を含む広義の学術情報の保存・公開・活用において、研究支援の役割を担うとともに、オープンサイエンスに参画していく。

- ・ 今後対応が求められる研究データ管理について、保存と公開の支援をする。

図書館として

<できそうなところ>

- 機関リポジトリの延長としての研究データ公開
- デジタルアーカイブの延長

<懸念材料>

- メタデータの粒度
- キュレーション

終